

# 七小校長室便り

開校50周年

国立市立国立第七小学校

校長室便りNo.9

令和4年(2022年)12月1日



## 令和5年(2023年)の来年度に向けて

令和4年も残すところ、今日を入れて1ヶ月となりました。この校長室便りをお読みになっている皆様にとってこの1年は、どのような年であったでしょうか。そして、それぞれの皆様のお仕事やご家庭、また、ご自身にとって様々に振り返られるのも、この12月のもつ特性ともいえます。

さて、学校においても、来年度の令和5年の4月からの教育活動について、学校としての方針や学校行事、各月の予定、取組内容、社会情勢に応じた対応等々、検討したり確認したりするのが、この12月から2月にかけての教育課程を編成する時期となります。

正式には、来年度当初の4月にお知らせすることとなりますが、先ずは校長として、現段階での来年度の方向性について、お知らせしておきたいと思えます。ただし、あくまで「案」の段階ですので、変更となることは、大いにあります。ご理解の程、お願いいたします。

### ○教育目標「かしこく やさしく げんきよく」

3つの柱については、変更は考えておりません。

本校の経営理念である「未来を自ら切り拓く力を、児童に身に付けさせる学校」となるためには、この3つの教育目標の実現に向け、様々に取り組むことが大切となります。

### ○重点目標「やさしく」の第2期

今年度の重点目標である「やさしく」について、現在、学校評価やアンケートをいただいている段階ではありますが、今日までの取組や児童の様子、保護者や地域の皆様からのご意見やご感想等から、来年度においても継続したいと考えています。

「やさしく」の第2期として、成果と課題を基に取組について検討し、改善が必要なものは改善し、継続するものは、よりよい取組となるようにして推進してまいりたいと思えます。

### ○パワーアップ「チーム七小」

国立市内のどの学校においても、教職員がチームとしての意識をもって、学校運営に取り組んでいます。本校も、これまで「チーム七小」として、教職員が力を合わせて取組や対応に努めてきました。今、目の前にいる一人の人としての子供を大切にするために、各個人に応じた対応方法や関わり方などを共有し、全教職員で子供の安全で安心な居場所づくりを行っているところです。

お陰様で、本校は、子供の自己肯定感が高く、多くの子供たちにとって安心していられる居場所となっており、楽しく学校に通っている子供が多くなってきています。来年度以降も、子供たちが楽しく学校通うことができるように、パワーアップ「チーム七小」を合言葉に、地域や保護者の皆様と一体となって、学校づくりを行ってまいりたいと考えています。



### ○令和4・5年度 国立市教育委員会 研究奨励校 研究発表会の開催

本校は、今年度より2年間、国立市教育委員会 研究奨励校として、校内研究において「特別な教科 道徳」の授業研究を行っています。

今年度の研究テーマを「他者を理解し、相互に関わり合える児童の育成」と設定し、サブテーマには、「自己を見つめるための工夫を通して」という内容で、道徳の授業改善に取り組んでいます。心の教育の要となる道徳の授業力の向上と、子供たちが、「主体的」に学びに取り組み、「対話的」に自分の考えを交流し合いながら、各人がもつ考えや思いに気付いたり、広げたり、深めたりするような深い学びになることを目指しています。今年度は、これまでに中学年の3年生と高学年の5年生が研究授業を行い、低学年の研究授業を、1年生が1月に行う予定です。

そして、来年度の令和6年の2月に研究発表会を行う予定としています。現在、日程等を調整中ではありますが、周年の取組に続いて、研究発表に向けた取組が始まりますので、本校の子供たちのよりよい育成のために、保護者や地域の皆様のご理解とご協力を賜りながら、国立市の小学校の代表として、推進してまいります。よろしくごお願いいたします。

## ○新しい保護者メール及び留守番電話の導入について

### 【新しい保護者メールについて】

今回のPTA便りにも掲載されていますが、現在使用している保護者メールの配信システムについて、新しいシステムを導入し、完全に移行することとなりました。導入に向けては、様々な準備が行われているところであり、新しいシステムに移行するまでの間は、両方のシステムを使用することになっています。今年度中には、使用開始となり、来年度の4月からは、完全に移行する予定です。あくまでも現段階の予定ですので、変更になることもあります。ご了承ください。

今回の新システムの1つの特徴としては、朝の健康観察について、保護者の皆様がアプリを使用して、各学級担任に健康観察票に記載いただいていた内容等が送れるものとなっています。活用することで、保護者の皆様も各学級担任においても、情報の共有がしやすくなる場所です。

導入時期や移行期間、使用方法等の詳細は、これからとなりますので、お伝えできる段階まで今しばらくお待ちください。

### 【留守番電話の導入について】

市内の学校において、すでに導入されているところもありますが、本校においても新しい保護者メールの導入に合わせて、留守番電話を活用した対応を行うことを検討、予定しております。

検討しているところをお知らせしますと、留守番電話の設定時間のことや留守番電話が設定されている時の学校への緊急なお知らせや、その時点で学校への連絡が必要な場合の連絡方法について等、保護者の皆様にご協力いただけたところをしっかりと検討し、教職員の働き改革を含めた取組としてまいりたいと思っております。

この件に関しましても、新しい保護者メールと同様に、詳細をお伝えできる段階になりましたら、改めてお知らせいたします。ご承知おきいただき、ご協力をお願いいたします。

### 【校長のつぶやき】

校長室便りにおいては、多くの方に読んでいただいているようで、嬉しく思っております。ありがとうございます。また、保護者や地域の皆様に学校を知っていただく機会にしたいという思いと、多くの方と協力をして、子供たちを育てていくための情報共有や発信の場として、更には、校長としての私の人となりを知っていただき、学校運営や教育活動について、どういう視点で考えているのか、何を基にした思いであるのか等をお知らせできる機会として、活用させていただいております。これからも多くの方に読んでいただけるよう、努力してまいりますので、ご覧いただければと思います。

さて、今回の校長のつぶやきは、またまた、合唱を通してお話をいたします。私は、これまで多くの方と定期演奏会やコンサートを行ってまいりました。時には、ミュージカルにも携わる機会もあり、現在は閉館されてしまいましたが、青山円形劇場でのミュージカル演劇で歌唱指導をしたこともあります。また、立川市にあるRISURUホール（当時は立川市民文化会館だったと思いますが）でも定期演奏会をしたこともあり、改めて、この国立市に着任したことの縁の深さを感じます。

多くの合唱団で指導をする際には、ボイストレーニングも担当しました。よりよい発声の基礎を知ってもらい身に付けさせることで、楽しく歌い、合唱の魅力を感じてもらいたいと当時のもてる力を最大限に発揮して指導をしたことを思い出します。中には音程が取れない方のレッスンを通して、正確な音程で歌えるようにしてきたこともあり、ボイストレーニングを通して自分自身の技量を高めていったこともありました。

以前もお伝えをしておりますが、音楽大学を出たわけではありませんし、独学的なところも多くあり、自分に自信をもって指導をしていた訳でもありません。しかし、多くの体験や経験が自分の技量を高め、指導技術を身に付けることになったことは間違いありません。また、やはり歌が好きなことと、合唱におけるハーモニーの心地よさ、更には、たくさんの人の声を一つにして思いを届けることの素晴らしさ、人に感動を与えることの尊さなど、人生における大切なことを学ぶことができたのは、この合唱の世界でした。

教員をしながらの活動でしたが、この合唱における活動は、何一つ無駄になることはなく、教員としての仕事に大いに生かすことができました。また、逆もあって、教員としての学びを合唱指導の中にも活かすこともできました。どの世界にも言えることではありますが、一つのことを好きになり、追究していくことは、自分を高めたり広げたりすることとなり、思いもよらない人生を送ることに繋がります。子供たちにも自分の好きなことや頑張ることに挑戦し続けて、未来に勇気と希望をもって生きてほしいと願っています。

